

空き巣対策

○泥棒が狙う家とは

基本的に狙われやすい家と、狙われにくい家とは何が違うのだろうか？

「**お金は家にはないから。**」はとっても危険

泥棒が狙うお宅は「入りやすい家」、「入る時に見つかりにくい家」です。お金は入って見ないとわからないからです。

誰も居ないし
大丈夫！



○お金を使わずにできる簡単な対策 **ガシヤ**

まず生活していて一番簡単にできることは何でしょう？みなさんは近くのスーパーや買物に出かけている時にシャッターはどうしていますか？シャッターを閉じていると明らかに不在です。と言っているようにも見えますが、もし自分が泥棒だったらどうでしょう？

家にいるか居ないかはチャイムを鳴らすだけでも確かめられますし、シャッターがなく誰も家に居なければ物音をだしてもわかりません。

「近くに買物にいくだけだから大丈夫。」と思いその隙に大事なものがなくなってしまうたら嫌ですよね。そうならないためにも**外出時はしっかりとした戸締り**を。

家の周りの片付け

家の周りを眺めてみましょう。泥棒が窓から入る足場となる箱などや、燃えやすいダンボールなどはありますか？泥棒の侵入や放火から、大切な自宅を守るためにも、「**家の周りには不要な物は置かないようにお片付けをしておきましょう！**」

ご近所付き合い

昔から住んでいる人が多い町では、おじいちゃん、おばあちゃんが、家に居ます。そして、町内の集まり事や、井戸端会議をしています。この場合、そのような集まりで鍵を開けたままにして、〇〇さんの家に泥棒が入られたと言うケースもあるかもしれません。

こういった町はいわば「よそ者」が歩きにくい町となっているのです。

最近では、マンションなども増え、隣の人も知らないし、会っても挨拶するかしないか程度のお付き合いでは、貴方の家から泥棒が出てくるのに鉢合わせしても、泥棒が「こんにちは」なんて声をかけてきたら、「隣の人かな？」と思っておわりです。

また、いつも留守にしているお宅なので、昼間に物音がしても、無関心な隣人は何とも思いません。ですから、「**めんどくさい**」なんて言わず**近所の人とコミュニケーションを取っておきましょう！**未然に防げる犯罪も増えることでしょう。